

第 14 次第 2 回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会への意見等

1 委員意見一覧

	1 災害廃棄物処理計画の策定に期待することやスケジュール等に対するご意見	2 ボランティア清掃用ごみ袋のサイズや種類に対するご意見
委員 A	意見無し	小さい袋もあった方がよいと思います。
委員 B	意見無し	現行の 30ℓ 一種類のみで良いと思いますが小さいサイズとの声があるのであれば 20ℓ 一種類にしても良いかと思います。全市一斉清掃の日は 1 人 1 枚もらってごみ拾いをしますが、各自持ち帰り後日ごみ袋一杯にして、ごみステーションに出すようにしていますので大丈夫かと思っています。
委員 C	民間事業者との連携・協定及び(放置含む)被災車両の扱いについて、内容に含むことができれば入れてほしい。	一種類の方が、経費がかからないと思う。現状維持。
委員 D	苫小牧市も地震や津波の被害に備えて準備は早くからしておいた方がよいと思います。スムーズに計画が進むといいですね。	確かにゼロごみの日に町内会でごみ拾いをしますが、袋が大きくていっぱいになるまでごみを拾えないので、もったいないとは思っていました。子供も参加するので、小さいサイズがあるとうれしいです。
委員 E	意見無し	年に 2 回春、秋と町内会大掃除に参加させて頂いていますが、年々ごみを拾う量が少なくなってきました。皆さんの協力だと思っています。小さいサイズもあった方がよいと思っています。
委員 F	災害廃棄物の原単位は、都市や地区の特性によって大きな差があることが予想されます。また仮置き場は、様々な形態で搬入されるので混雑が予想されます。東西に細長い苫小牧市の地形や土地利用の特徴を勘案して計画されることを期待しています。	30ℓ は大きめかなと思いますが、10ℓ は小さめかとも思います。2 種類作るか、20ℓ 位にして 1 種類にするか、ごみ袋のサイズにより価格も変わると思いますので費用対効果を考慮して判断されるべきだと思います。
委員 G	意見無し	意見無し
委員 H	意見無し	市民の意見をくみ取っていて前向きに検討していることは大変良いことだと思いました。
委員 I	意見無し	ごみ拾いに参加した際に粗大ごみはあまり無く、30ℓ の袋では半分以下の回収物で終了しました。周りも同様でした。プラスチック製品の減量化に取り組む一環として小さい袋の導入は検討してみても良いと個人的には思います。

委員 J	意見無し	<p>小さいサイズを希望の方々は、30ℓ の大きなゴミ袋に少しだけゴミを入れるという目に見えて「環境に悪いこと」をしているという各自の意識にのみ従い、制作や配布のコストが見えていないことが原因だと思います。ボランティアすることで余計な税金が投入されるということの啓発をもっとトップダウンするのがよいのではないのでしょうか？例えば、町内会連合会や老人クラブ連合会などあると思うのですが、ゴミ拾いボランティアをされている方々を取りまとめている会長やリーダーの皆さんが理解すれば、それは多くのボランティア活動している人に伝わると思います。一斉清掃の際に寄せられる「袋が大きくてもったいない」に対しては、ボランティア袋を各世帯に配るのではなく、各自コンビニのサミット袋のようなものにごみを集めて集積場所に持ってきて、そこにいる担当者(区長)に渡すと、ボランティア袋 1 枚と交換されるという方式にすればよいです。集積時間は 7 時～9 時ですが、担当者がいるのは 8 時～9 時で、その時刻を目指してゴミ拾いをすれば、ボランティア袋と共にお茶 1 本もらえるようにし、ゴミ拾いに参加した方は 30ℓ ゴミ袋 1 枚を得られ、その袋は通常のごみ収集時に使用できるようになっています(町内の池田市議が 10 年以上前に環境保全課に依頼し以降、そのようになっています)ボランティアゴミ袋は区長が管理し、残った物は環境防犯部がノボリと共に回収するので、不正使用はありません。なお、集積場所にいる担当者は、その 1 時間で集まったゴミをボランティア袋に入れたり、分別をしたりしています。</p>
委員 K	意見無し	<p>綺麗な状態が保たれていることからゴミ拾い時に袋が満杯にならないのは良いことだとは思いますが、一斉清掃の際に万が一多かった場合の想定も必要かなと思います。また、その日だけではなく 2～3 日ほど使うように考えれば問題無いのかと思います。</p>
委員 L	<p>計画の策定は必要なことであり、遅れることなく進めることが望まれます。</p>	<p>市民に製造コスト等の説明の上、30ℓ のみで対応可能であれば現行でよいと考えます。質問ですが、資料 2 の表にある発注枚数 110,000 枚は単年度で消費してしまい、在庫は残らないのでしょうか。例えば、今年度は大 30ℓ を発注、次年度は小 10ℓ を発注し、大小 2 種類の在庫を持ちながら、在庫している大小を混ぜて配布し、単年度で 1 種類の袋を必要枚数発注していくといった進め方は可能でしょうか。これでは経費の節減につながらないでしょうか。</p> <p>(市からの回答)</p> <p>この度は御意見をいただきありがとうございました。</p> <p>ご意見いただいたご提案につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
委員 M	意見無し	意見無し

委員 N	特に津波による災害廃棄物は最悪となります。(畳の塩害腐食/腐敗)また、災害時の緊急品貯蔵も高い場所での分散保管が必要(EV 配置倉庫不可)道内で一番罹災可能面積が広い苫小牧であり、3/16 にも大きな地震が発生しております。出来るところから早急な整備と考えます。	袋に「ごみ回収協力ありがとう！」その下段に「ごみを集約しごみ袋も削減願います」と印刷してはどうでしょう。タヌキのお腹がパンパンになっている絵も加えては。
委員 O	意見無し	毎週の町内のごみ拾いに参加させていただいた際は、毎週実施しているので 30ℓ の袋がいっぱいになることはそうそう無く、各々が持参した小さなサミット袋に集めたものをまとめて 30ℓ の袋に入れるという流れでした。それでも枯葉や枯れ木でいっぱいになるくらいで、ごみが 30ℓ いっぱいになることは無く容量の小さい袋の需要はあると思います。そうした理由から大きい袋でもつたいないということだと思うので、小さいサイズを作る方が、費用がかさんでしまうのであれば 30ℓ 袋だけで困るという事は無いと思います。
委員 P	・冬の雪のある時、今年みたいに積雪量の多い時の検討はどうでしょうか。 ・スケジュール案は良いと思います。	ごみ減量対策を行っている課がごみ量より大きい袋を使用するのは変だと思う。小さい袋があっても良いと思います。
委員 Q	意見無し	意見無し

※敬称略

2 その他意見

- ・市民に関わりの深いごみステーションですが、いろいろ進化しているように思います。委員も交代しているのでごみステーションについて説明する機会を持ってもいいかもしれません。また、ぼい捨てや収集業者の苦労などを市民に見える化することも必要な。
- ・審議委員には高齢の方もおられるので、このように書面開催はとてもいいと思います。今後、コロナ過が過ぎても ZOOM での開催にするなどし、勤労者や子育て中の母親父親などが参加しやすい審議会を目指し、行政に都合の良い人々やいつもどこの審議会にもいる審議委員だけを集めるのではなく、多くの市民からの意見を求めてほしいと願います。